

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	産業建設常任委員会		会議場所 全員協議会室 担当職員 佐藤
日 時	令和2年4月20日(月曜日)		開 議 午前 10 時 00 分 閉 議 午前 11 時 06 分
出席委員	◎菱田、○赤坂、田中、小川、奥野、藤本、竹田		
出席理事者	【産業観光部】吉村部長 [商工観光課]三宅課長、栗林観光担当課長 [光秀大河推進課]松本課長		
出席事務局	鈴木議事調査係長、佐藤主任		
傍聴者	市民 0 名	報道関係者 1 名	議員 1 名(山本)

会 議 の 概 要

10:00

1 開議 (菱田委員長あいさつ)

[事務局主任より日程説明]

2 案件

[産業観光部入室]

[産業観光部長あいさつ]

10:04

新型コロナウイルス感染症の影響に係る地域の現状と対策について (産業観光部行政報告)

[所管課長 資料に基づき順次説明]

10:24

[質疑]

<小川委員>

出前でうちメシ応援キャンペーンについて、以前は全戸配布するとのことだったが、今回の説明ではポスティングになっている。本当に全戸に届くのか。

<商工観光課長>

以前は、外食応援キャンペーンということで、チラシについては自治会を通じて全戸配布する予定であったが、市内に感染者が出たため延期となった。今回は出前でうちメシ応援キャンペーンということで、緊急的に早くチラシが届くように、府民だより等の配布実績のあるシルバー人材センターを通じて配布する予定である。

発信については、LINEやフェイスブックなどのSNSや5月1日号のおしらせに

掲載して周知していく。参加店舗は現在40数店舗であり、随時募集していく。

<小川委員>

おしらせ等にはわかりやすく記載し、自治会にも問い合わせがあると思うので、説明をしっかりとっておいてほしい。

<商工観光課長>

高齢世帯が多いので、書面での周知も大事にしていく。また、各自治会等に説明に回る。

<小川委員>

亀岡商工会議所との情報連携は密にできているのか。

<商工観光課長>

昨年度から、職員を亀岡商工会議所に派遣していることもあり、いろいろなやりとりをスムーズに行っている。今、事業所等において、資金繰りが大変になっているため、融資支援が大きな柱になっている。金融機関や亀岡商工会議所と情報共有することにより、協力していきたいと考える。

<藤本委員>

先日、湯の花温泉観光旅館協同組合が市へ要望に來られて、「予約のキャンセル等により、5億円近くの損害が出た」と新聞に掲載されていた。保津川下りやトロッコ列車を含めて、どれくらいの損失が出ているのか。

<観光担当課長>

保津川下りで、1～3月の取り扱い人数が61.1%。大型団体客の対応が可能な湯の花温泉旅館では、3月の取り扱い人数が半分以下。トロッコ列車では、3月の取り扱い人数が39.2%であり、4月はさらに減ると考える。

<藤本委員>

「農産物が旅館や料理屋等に売れない」と聞いたが、農業関係への影響はどうか。

<産業観光部長>

直接、農林関係の各種団体から、損害等の相談や報告はないが、「4月に入って事態も急変しており、心配している」との声は聞いている。

<藤本委員>

相談窓口について、自治会長に話を聞くと「よくわからない」と言っていたので、説明をしっかりとってほしい。

<奥野委員>

出前でうちメシ応援キャンペーンについて、シルバー人材センターにチラシの配布をお願いするとのことだが、本当に全戸に届くのか。

<商工観光課長>

今回は、シルバー人材センターをお願いする。現在、自治会を通じての全戸配布枚数は、31,000世帯ほどである。シルバー人材センターや郵便局が行うポスティングでは、35,000～36,000世帯で、自治会の全戸配布よりも多く配布できる。実際、亀岡市には39,000世帯あるため、シルバー人材センターに依頼するほうがよいと考える。また、緊急対策のため、今回はできるだけ早く配布できるように、シルバー人材センターに依頼したいと考える。

<奥野委員>

空き家等には、確認してポスティングしないようにできるのか。

<商工観光課長>

その地域に住んでいるシルバーの方に、ほとんど配布していただけるので、空き家等に配布することは少なく、広く確実に配布できる手段であると考えている。

<奥野委員>

チラシはどのようにお店で使用するのか。

<商工観光課長>

利用については、偽造防止等を考えて作成している。利用者の氏名記載や利用店舗の証明書の添付など、一定ルールをつくって対応していく。

<奥野委員>

近所の人が、空き家に入っていたチラシを使用することもできると考えるが、チェックするのか。

<商工観光課長>

重複をチェックする予定はない。この事業は感染症の拡大防止と飲食業の支援を目的としているため、目的が達成できれば問題ないと思うが、やはり、そこは個人のマナーの問題であると考え。亀岡市としては、市内飲食業の情報発信を重視して、これからも広く周知していきたい。

<奥野委員>

各自治会にしっかりと説明をしてほしい。

<竹田委員>

事業所での雇い止め等の現状把握をしているのか。

<商工観光課長>

把握していない。

<竹田委員>

アルバイトや派遣が働けない現状をしっかりと把握してほしい。先日市長と面談した際に、「現在、雇用の洗い出しをしている」と言っておられたが、どうか。

<産業観光部長>

先週末に、市役所内で、雇用の創出が可能な事務や業務の洗い出しを行った。現在、効果や経費等について財政課で調査しているところである。

<竹田委員>

早急に進めてほしい。

<藤本委員>

事業者等が相談に来られたら、別途相談室を設けて対応しているのか。

<商工観光課長>

平均して、1日に相談者が1～2人のため、カウンターで対応している。

<藤本委員>

経営者等はプライドを持っておられるので、「大勢の前で経営難を伝えることが心苦しい」と言っておられる方もいたので、できれば個室の相談室で対応していただきたい。これは要望としておく。

休業補償はあるのか。

<産業観光部長>

国では200万円、100万円を支給される。京都府は制度設計中だが、20万円、10万円を上積みすると報道されている。亀岡市でもさらに上積みを検討中である。

<赤坂副委員長>

融資などの各種相談について、プロの税理士等に任せることはできないのか。

<商工観光課長>

国の融資支援等の窓口は各金融機関になっている。また、亀岡商工会議所に特化した支援についても資格を有する経営支援員が対応しているが、人数が少ないため、今後も各種団体と協議していきたい。

<赤坂副委員長>

社労士や税理士等に協力してもらって、早急に融資できるような体制をとってもらいたい。

<商工観光課長>

亀岡商工会議所と早急に検討していきたい。

<赤坂副委員長>

出前でうちメシ応援キャンペーンについて、なぜ1,000円なのか。5,000円くらいにできないのか。

チラシのポスティングについても、自治会の全戸配布のほうがより把握しているため、スムーズに配布できると思うが、どうか。

<商工観光課長>

市民から地域の飲食店を盛り上げてもらうことが目的であり、第1弾としてキャンペーンを行う。金額が安いという意見も出てくると思われるが、金額よりも実施することに意義があると考えます。

配布についても、より早く手元に届けるため、今回はシルバー人材センターに依頼することとした。

<赤坂副委員長>

1,000円では緊急対策にならないと思う。今後、人をうまく活用して、支援をしてほしいし、アルバイトや派遣についても、雇い止め等をしっかり把握して緊急対策をしてほしい。

<菱田委員長>

出前でうちメシ応援キャンペーンについて、店舗側には何か表示はあるのか。

<商工観光課長>

チラシを店舗に貼ってもらうように考えている。

<菱田委員長>

よりよい事業となるように期待している。

今後、いろいろな施策を行ってもらわなければならないが、多くの人が窓口に来られる市役所が、クラスターとなることのないよう、万全な対策をとり、職員と市民の皆様の安全を確保していただくよう要望しておく。

[産業観光部退室]

11:00

3 その他

<菱田委員長>

次回の月例は5月26日(火)、10時から開催する。そのほか何かあるか。

<小川委員>

常任委員会の行政視察について、新型コロナウイルス感染症の関係で、今年は見合わせてはどうかと考えるが皆さんの意見は。

<竹田委員>

今年という区切りをつけずに、当面は見合わせたらよい。

<藤本委員>

相手側が受け入れてくれるかわからないが、年内に収まりそうにないと思われるので、自粛の方向で考えればよい。

<赤坂副委員長>

夏ぐらいまで様子を見ながら、視察でなくても勉強会等として、やり方を考えてもよいのではないか。

<菱田委員長>

当委員会としては、状況を見ながら、当面行政視察を実施しないこととしてよいか。

<了>

散会 ～11:06